

エントランス・花壇等 (案) S=1:1000 (A3)

【エントランス、花壇の考え方】

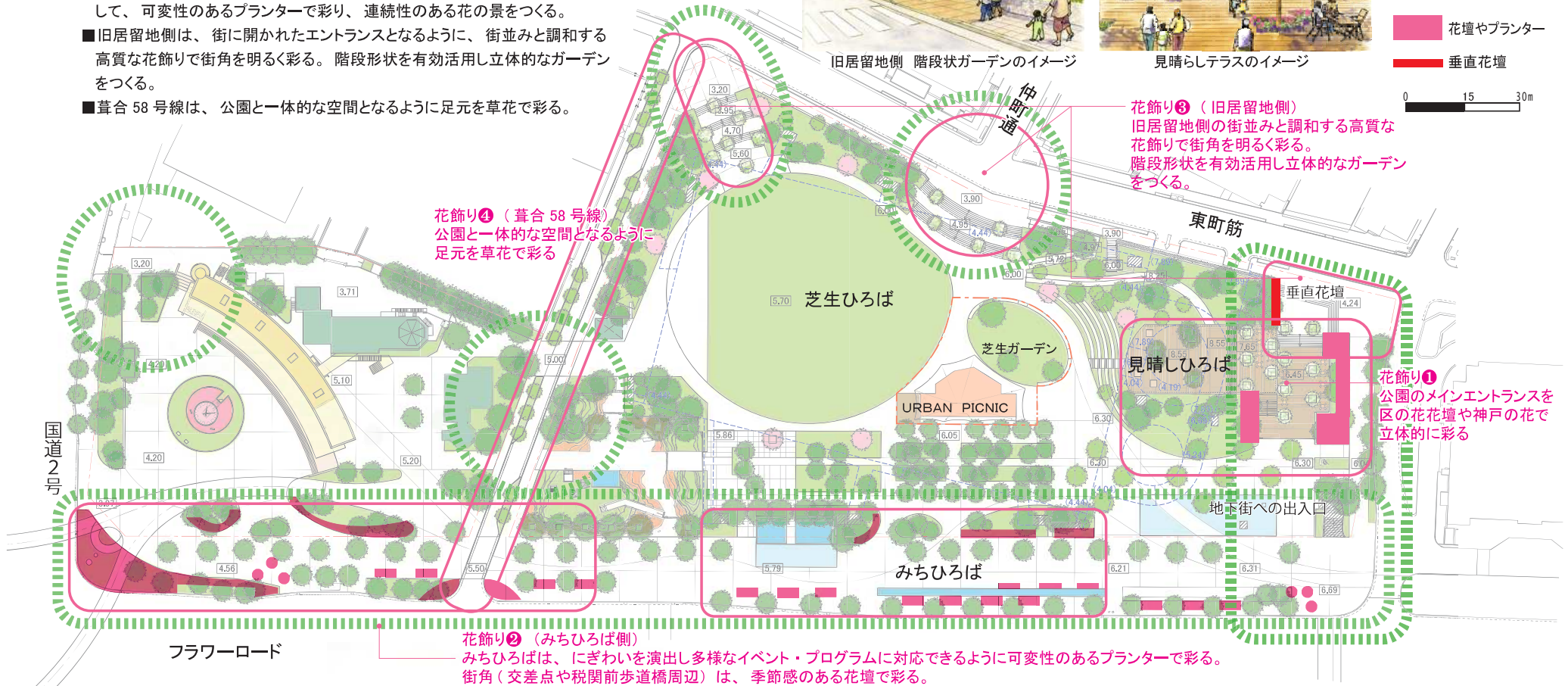
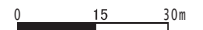
- 市庁舎に接続する北側のメインエントランスを、区の花花壇や神戸の花で立体的に彩り、公園の顔をつくり訪れる人をもてなす。連続する見晴し広場は、花に包まれたテラスとなるように足元を草花で彩る。
- 公園へのアプローチが連続する「みちひろば」は、イベント等の開催を考慮して、可変性のあるプランターで彩り、連続性のある花の景をつくる。
- 旧居留地側は、街に開かれたエントランスとなるように、街並みと調和する高質な花飾りで街角を明るく彩る。階段形状を有効活用し立体的なガーデンをつくる。
- 葦合 58 号線は、公園と一体的な空間となるように足元を草花で彩る。



旧居留地側 階段状ガーデンのイメージ



見晴しテラスのイメージ



花時計



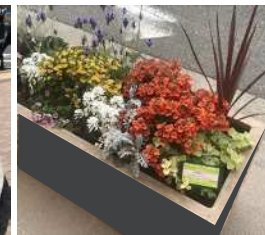
足元の草花



樹下を彩る草花



花壇



まちかどガーデナーによる
プランター花壇



立体的な花壇



垂直花壇